

第7章 財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

第1節 設 立 の 趣 旨

複雑、高度化した現代社会にあって、学校教育とそれを取り巻く家庭教育・社会教育との調和と連携を図り、これらの関連分野において、現在の教育機関では十分果たしえないものを補完し援助するとともに、進んで教育開発に寄与し、県民への教育奉仕を行うために開設された。

第2節 事 業 概 要

1 教育相談

(1) 「こころの電話」052-261-9671

青少年とその保護者を主な対象として、電話による相談を通じて悩みの自主的解決のための精神的援助を行う。

ア 受信体制

(ア)相談時間 午前10時から午後10時まで

(イ)電話台数 4台

(ウ)相談員数 175人(常任相談員3人,ボランティア相談員172人)

イ 利用状況

平成17年度の利用状況は、次のとおりである。

(ア)年間受信件数

受信件数	相談件数	時間外件数 (午後10:00~午前10:00)	無言	1日の平均件数 ()内は相談件数の平均
23,927件	11,934件	1,382件	10,611件	66.6(33.2)件

開設以来、平成17年度末までの総受信件数1,620,076件、相談件数879,142件

(イ)利用者の内訳

利用者層	小学生	中学生	高校生	大学生	勤労青少年	保護者	一般	計
件数	46	610	1,308	313	1,883	4,287	3,487	11,934
百分率(%)	19.1				15.8	35.9	29.2	100.0

(ウ)利用者層別相談内容の上位3

順位 層別	第1位		第2位		第3位	
小学生	友人関係	32.6%	学校生活	19.6%	健康・不安	13.0%
中学生	健康・不安	20.5%	性格・行動	18.9%	友人関係	18.2%
高校生	性の問題	34.3%	健康・不安	22.9%	性格・行動	15.6%
大学生	性の問題	18.2%	健康・不安	17.9%	性格・行動	13.1%
勤労青少年	健康・不安	19.8%	性の問題	18.1%	性格・行動	7.7%
保護者	性格・行動	43.1%	学校生活	11.0%	健康・不安	10.4%
一般成人	健康・不安	9.1%	家族問題	4.3%	夫婦問題	2.8%

(2)面接教育相談

子どもの教育にかかわる保護者の悩みについて、集団による面接教育相談を行うことにより、その問題を解決する糸口をつかみ、教育効果の向上を図る。

平成 17 年度の開催状況は、次のとおりである。

期	主 題	対 象	会 場	回数	期 間	延参加者数
	不登校	小・中学生の保護者	名古屋	6	6月7日～9月13日	64人
		高校生の保護者	名古屋	6	6月3日～9月16日	77人
	不登校	中学生の保護者	名古屋	6	10月7日～11月25日	62人
		高校生の保護者	岡 崎	6	10月6日～11月24日	32人
	不登校	小・中学生の保護者	岡 崎	6	12月5日～2月6日	85人
	軽度発達障害	小・中学生の保護者	名古屋	3	6月23日～7月21日	79人
		指導者	名古屋	1	6月13日	54人
	軽度発達障害	小・中学生の保護者	岡 崎	3	12月6日～1月19日	78人
		指導者	岡 崎	1	1月17日	22人

(3)青少年教育テレビ放送事業

「こころの電話」や「面接教育相談」の事例等を参考にした番組を放送し、青少年とその保護者に諸問題を解決する糸口を見いださせるとともに、現代に生きる青少年の望ましい姿を理解させる。

ア 放送事業の概要

(ア)番組名 「青春ナビ」(放送 テレビ愛知)

(イ)対 象 主として、中・高校生、大学生、勤労青少年及び保護者

(ウ)放送日時 平成 17 年10月から 12 月までの毎週土曜日午前 6 時 45 分から 7 時

(エ)放送回数 11 回

イ 放送テーマ

平成 17 年度の放送テーマは、次のとおりである。

回	放送月日	放 送 テ ー マ	回	放送月日	放 送 テ ー マ
1	10月1日	夢へのジャンプ！ ～わたしと“クー”～	7	11月12日	攻撃はオレにまかせろ
2	10月8日	ボクらの声は届くでしょうか	8	11月19日	“こころ”を育てよう
3	10月15日	1/60秒の光～月面衝突閃光～	9	11月26日	愛馬を駆って金メダルを目指す
4	10月22日	気持ちをひとつに ポートで日本ー！	10	12月3日	700人のミュージカル「西尾茶 浪漫伝説」
5	10月29日	がんばれ！新人女性消防士	11	12月10日	世界へ羽ばたくマーチングバンド
6	11月5日	現代アートで鳥おこし			

2 能力開発

中学夜間学級

さまざまな事情で中学校を卒業できなかった方を対象に、中学校卒業程度の学力をつける機会を提供する。(週3日、1日4時限の授業を実施)

在籍生徒数(平成17年5月1日現在)

区分		10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
2年生	男	人	人	人	人	人	人	人
	女					1		
1年生	男	1						7
	女	1	1				4	

第32回卒業生(平成18年3月卒業)の年齢構成

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
男	人	人	人	人	人	人	人
女					1		1
計					1		1

3 教員人材銀行

教員の研修、療養休暇、出産休暇、育児休業等により生じた欠員補充の円滑化を図るため、教員免許状を有する人材を確保し、学校の要請に応える。

平成17年度の実績は、次のとおりである。

新規登録件数 1,786人

新規報告件数 809人

4 国際交流

教職員の海外研修が円滑に行われるように企画・実施し、あわせて海外から本県へ派遣されてくる教職員の研修を受け入れ、その研修に携わり、本県教職員の国際理解を深める。

○韓国教職員との交流

- ・隔年相互交流事業
- ・受入国内での経費は受入側で負担
- ・派遣事業は11年度から、受入事業は14年度から実績はない